



令和6年度高台小重点目標

■ 新年度が始まり、約3週間となりました。ようやく新しい教室や仲間にも慣れたところでしょうか。今週末からはゴールデンウィークが始まり、気持ちも体もリフレッシュして、日々の活動に取り組んでほしいと思います。

今年度の高台小学校グランドデザインを裏面に掲載しています。今年度の高台小学校の重点目標は

「問いを見附けたい かかわりたい 挑戦したい
高台っ子が育つ学校」
～「学ぶ意味」「自己決定」「学びたい」
であられる環境・状況づくり～

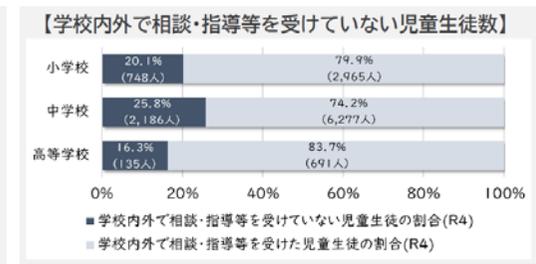
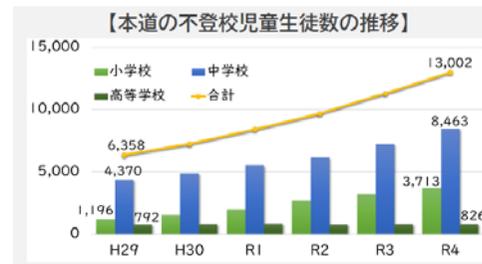
です。

今年度も、チームによる学年・学級経営～問いを「見付ける」「かかわる」「挑戦する」多様な活動の充実を図っていきます。

子どもの自己実現を図る学校づくり

■ 全国的な傾向ではありますが、不登校児童生徒の増加が大きな課題となっています。右のグラフ(左端が小学校)からもわかるように、北海道全体で平成29年度1196人だった不登校児童(病気等の理由以外で学校を30日以上お休みしている児童)が令和4年度は3713人と3倍に増加しています。また、学校の内外で相談や指導を受けていない不登校児童生徒の割合は、小学校で約2割となっています。北海道では、「学校に登校する」ことのみを目標

とするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要があると考え、不登校により学びや支援にアクセスできない子どもたちをゼロにすることを目標としています。



そのために児童が、どのような理由でお休みしているかの把握を徹底するとともに、連続してお休みしている児童には保護者の皆様と連携して取り組みます。またスクールカウンセラーや旭川市子ども総合相談センターなど相談できる体制づくりを進めています。

緊急連絡先について

※土日や連休中の怪我や事故などの緊急連絡につきましては、「よくわかる高台小学校」に記載している

kinkyu@takadai.els.asahikawa-hkd.ed.jp

にご連絡ください。

- ①児童の名前、年・組
- ②連絡された方の名前
- ③連絡内容
- ④連絡先
- ⑤その他必要なこと



旭川市立高台小学校

〈教育目標〉

◎考える子〈知〉 ◎仲よくする子〈徳〉 ◎たくましい子〈体〉



目指す子供の姿（目指す資質・能力）

- (1) 生きて働く「知識・技能」を習得する
必要な情報や課題を見付け、主体的に学ぶ子
- (2) 他と関わり、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成する
知識・技能を活用して自ら考え、互いを尊重し共に高め合う子
- (3) 学びを人生や社会に生かすとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養する
自他のよさを感じながら、願いの実現へ粘り強く取り組む子

重点的に育成を目指す資質・能力と活動

- (1) 「**問題発見力**」〈知識・技能〉 ... **見付ける**
- (2) 「**情報活用力**」〈思考力・判断力・表現力等〉 ... **かかわる**
- (3) 「**自己調整力**」〈学びに向かう力・人間性等〉 ... **挑戦する**

生活科と総合的な学習の時間を中核にしたカリキュラム・マネジメントの展開

学びの主役は子供

【学校の状況や課題】 学力向上・生活習慣改革

- ◇大変協力的で温かく見守ってくれる地域環境
- ◇バリアフリーでオープンな教育環境の最大活用
- ◇早期発見と組織で素早く対応する生徒指導
- ◇素直で明るく落ち着いて学ぶ子供たち
- ◇ICT活用に積極的な教職員と子供たち
- ◆コミュニケーショントラブル多発～学びの基礎力
- ◆学力向上に課題～特に思考力・判断力・表現力
- ◆能動性や創造性に課題～授業改善
- ◆家庭でのメディア時間が多い～生活習慣改革

【学校経営の主な重点】 対話と創造

- ◎ チームによる学年・学級経営と特別支援
- 教職員が参画し「環境・状況を整える」学校改革

- 1 「安全・安心」「信用・信頼」の元気な学校づくり
- 2 「豊かな心」の育成～互いを尊重する人間関係形成
- 3 「確かな学力」の育成～学校力と教師力の強化
- 4 「健やかな体」の育成～自他の生命尊重を重視
- 5 「働き方改革」の推進～子供と向き合う時間の確保
- 6 「共に学び育つ教職員」の育成～主体的な研修の充実
- 7 「地域とつながる教育活動」の充実～協働・参画
- 8 「特別支援教育」の視点を重視した学年経営～複数教員担当制の拡大

【高台小・春光台中9年間の取組】

- *9年間でめざす子供の姿
「自ら進んでチャレンジし、夢や希望をもった子供たち」
- *保護者・地域の現状と願いと具体的な活動
- *教育目標・目指す子供の姿(資質・能力)の共有
- *幼保子小中連携・地域連携活動の積極的推進

【コミュニティスクールの取組】

- *健康・安全確保等、学校教育活動の理解
- *学校運営への地域住民の理解・協力・参画等の促進
- *活動の発信及び地域住民等の意見要望等把握
- *地域と連携した活動の推進(地域連携協働本部)
- *気持ちの良い挨拶が響き合う春光台・鷹の巣地域
- *春光台未来プロジェクト、各種イベント等への対応

【家庭やPTAの取組】

- *学校を生涯学習の核として、子供の諸活動の充実と子供の幸せを願い、連携・融合を深め合う地域社会づくり
- *父母と教師が相互信頼を基調とし、子供の健全育成について共通理解し働き方改革の下で協働する

<元気な学校づくり>

- 教職員が元気
- 心が元気
- 体が元気
- 頭が元気



【令和6年度の重点目標】

問いを見付けたい、かかわりたい、挑戦したい、高台っ子が育つ学校
～「学ぶ意味」「自己決定」「学びたい」があふれる環境・状況づくり～

■ 成果目標～チームによる学年・学級経営～問いを「見付ける」「かかわる」「挑戦する」多様な活動の充実

- 成果指数R6～
 - ① 学力向上(教務) TK式学力標準検査⇒全校標準得点を国・算それぞれ3ポイント上げる
 - ② いじめ・不登校対策(生徒指導)「いじめられた時、誰にも相談しない」の回答を0件にする
 - ③ 体力向上(健康指導部) 縄跳び学年平均回数達成率90%以上、「シャトルラン」全国差平均0～3p以内
 - ④ 働き方改革(コア・チーム) 校務のICTを進め、月別時間外勤務を40時間以内にする

<実践の合い言葉>

全ては子供たちのために常に改善、共に前進
～その活動は「本当に子供のためになっているか」を問い続けて～

